

321号  
2024年  
9月

# 日赤みやぎ



宮城県支部では、県内の青少年赤十字(JRC: Junior Red Cross)に加盟する中高生を対象に、自然の中で合宿しながらリーダーシップの取り方を学ぶ「リーダーシップ・トレーニング・センター(通称:トレセン)を毎年8月の夏休み期間中に開催しています。

今年は「宮城県松島自然の家」を会場に8月9日(金)から11日(日)までの2泊3日で開催し、JRC中高生メンバー26名が参加しました。参加者からは「皆との話し合いを通して、協力する重要さを学びました」、「仲間との絆や経験を得て、最高の夏の思い出になりました」などの感想が寄せられました。



# 祝 青少年赤十字 100周年 in 宮城

1924年、名取郡下増田村の下増田尋常小学校(現在の名取市立下増田小学校)が宮城県で最初に青少年赤十字に加盟登録してから今年で100年を迎えました。  
2024年現在も150校の青少年赤十字加盟校(保育所・幼稚園～高等学校)に通う児童・生徒たちが「やさしさ」と「思いやり」の心を大切に、地域に根差した様々な活動を展開しています。

## はじまり 青少年赤十字(JRC)とは

第一次世界大戦のとき、カナダ、アメリカ、オーストラリア、イタリアの学校の生徒と先生は、戦争で苦しむヨーロッパの人々をなぐさめ励ますため、手紙や包帯、被服、慰問品などを赤十字を通じて届けました。これがきっかけとなり、青少年赤十字(JRC: Junior Red Cross)が誕生しました。

**青少年赤十字の実践目標**

- 健康・安全**  
生命と健康を大切に
- 奉仕**  
人間として社会のため、人のために尽くす責任を自覚し、実行する
- 国際理解・親善**  
広く世界の青少年を知り、仲良く助け合う精神を養う

**青少年赤十字の態度目標**

- 気づき**  
身近な問題を発見する
- 考え**  
問題解決のための道筋や方法を探る
- 実行する**  
活動に取り組み、評価と反省を次へ活かす

## 宮城県JRC100周年 チャリティーフェスティバルを開催します!

日時: 9月29日(日) 10時~15時  
場所: 藤崎本館前・サンモール 一番町商店街(仙台市)

ぜひJRC100周年をお祝いしに来てください!



## 魅力 東北生活文化大学高等学校のJRC部に聞きました! 「JRCの活動に参加したきっかけ、魅力はなんですか?」

【JRC部の活動内容】部員:11名  
・仙台七夕まつりの「仙台平和七夕」とJRC部単独で出展する七夕飾りの製作  
・文化祭でJRCブースを出展(赤十字クイズや展示、協力ゲーム)  
・トレセンなど支部主催行事への参加  
・地域のボランティア活動への参加など



高校生の時にJRC部に入っていたお母さんに勧められたことがきっかけです。様々な活動に挑戦して、自分が知らない世界を知ることができ、成長することができました。(千葉さん)

タイ国とのオンライン国際交流会や全国の高校生が集まるJRCスター・センターに参加して、日本や世界で起きていることを知ることができました。また、初めて会う人もたすけあえる関係を作れるようになりました。(仙石さん)



いろんな活動を通して自分が成長できることに魅力を感じます。(玉田くん)  
「ボランティア」という言葉にひかれて、JRC部に入りました。季節ごとにいろんな活動があり、やりがいを感じています。(佐藤くん)



生徒たちが強制ではなく、自ら活動しようと自主的に取り組むことから、「気づき・考え・実行する」力を身につけることができることや、自ら新しい場所に飛び込んで、経験を通して、いろんなことを吸収して、得ることができるのが魅力だと思います。(顧問:三浦先生)

**健康・安全**

仙南小中地区一日トレセンで救急法の講習(仙南小中地区の小学校6校、中学校1校、高校1校)

**奉仕**

「とよま祭り」のために小学校・中学校合同地域清掃(登米市立登米小学校・登米市立登米中学校)

**国際理解・親善**

キリバス共和国とのオンライン交流会(気仙沼市立鹿折小学校)

## 歴史 100年以上続くJRC活動と魅力を紹介!

1924年8月1日下増田尋常小学校加盟!

1925年末には加盟校数は50校に!

100年を経て、現在加盟校数は150校に!

**「リーダーシップ・トレーニング・センター」**

子どもたちにリーダーシップと「気づき・考え・実行する」力を身につけてもらうことを目的とした宿泊研修です。  
宮城県では、1954年、高校生を対象に1回目が開催されました。現在は中高生を対象に、毎年夏に2泊3日で開催しています。

**「アジアの国々との国際交流」**

1977年にバングラデシュの青少年赤十字指導者が宮城県を訪れたことが始まりです。マレーシア・インドネシア・タイ国へ日本から中学生・高校生のJRCメンバーが訪問するようになり、1997年~2020年までタイ国と日本を交互に訪問して交流を続けてきました。  
2022年からはタイ国とオンラインで交流会を開いています。

**「JRC オンライン語り部 LIVE」**

2021年より東日本大震災での被災体験を持つ語り部さんの生の声の配信を始めました。災害を自分事ととらえ、もしもの時には命を守る行動がとれることを目指す配信には、これまでに全国約2.5万人の小学3年生~高校生が参加しています。

## ~「やさしさ」と「思いやり」の心を未来へ~ 青少年赤十字の仲間に加わりませんか?

JRCの活動は、これまで行ってきた日頃の学校活動に取り入れることができます。  
また、加盟登録により、救急法等短期講習や防災教育プログラムなどを無料でご利用いただけます。JRCに仲間入りして、これまでの活動にひと味加えてみませんか?  
JRCに関するお問い合わせ:事業推進課 ☎022-725-7530  
※加盟登録は無料です。  
※手続き後、加盟登録に伴う資料をご提供します。



# 宮城県支部のトピックス



## 海上保安庁と合同訓練!

5月23日(木)、宮城海上保安部と日本赤十字社宮城県支部との合同訓練を実施しました。

この訓練は「海上保安庁と日本赤十字社との業務協力に関する協定」等に基づき、平成27年度から実施しているもので、南海トラフ地震が発生し、仙台赤十字病院・石巻赤十字病院から日赤救護班等を三重県鳥羽沖へ派遣した想定で行いました。

被災地で巡視船へ収容された多くの傷病者に対してトリアージを実施し、搬送・応急処置を行ったほか、救援物資の船内への積載や、ヘリコプターによる重症者の搬送などの内容を行いました。

実動の際の具体的な流れを確認できたほか、訓練後の検討会では、搬送の方法や重症度別の治療エリアの配置場所などについて改善点が話し合われ、今後に向けて有意義なものになりました。

※トリアージ…災害発生時などに多数の傷病者が発生した場合に、傷病の緊急度や重症度に応じて治療優先度を定めること



▲傷病者に応急処置を行う日赤救護班



▲ヘリコプターにて重症者を搬送

## 赤十字ってどんなところ?施設見学会を実施しました!

5月18日(土)、昨年10月に仙台市泉区へ移転した社屋の施設見学会を実施しました。

近隣の皆様80名にお越しいただき、救急法講習の体験や赤十字クイズ、救護員や看護師へのなりきり体験など赤十字に関する多種多様なカリキュラムを体験していただきました。

参加者からは「赤十字のことが知ることができ、楽しかった!」「近場にこのような施設があることが分かり、安心して過ごすことができる」といった声が寄せられました。

赤十字はこれからも皆様に寄り添った活動を続けていきます。



▲おうちのケンはどこかな?プチ防災セミナー



▲白熱した赤十字クイズ

## 避難者を疑似体験!七ヶ浜中学校で赤十字防災セミナーを実施しました



▲カードを使ってグループワークを実施



▲避難所で次々起こるイベントにも上手に対応しました

昨年9月に日本赤十字社防災教育事業(赤十字防災セミナー)の新カリキュラムとして登場した「ひなんじょ たいけん」を7月2日(火)、宮城県内の学校として初めて七ヶ浜町立七ヶ浜中学校で実施しました。

「ひなんじょ たいけん」は避難者と運営者両方の立場で避難所運営の大変さや困難なことを避難者に見立てたカードやイベントを通じて感じ、自助の力と人への思いやり、困難を打開する思考力を養います。

生徒の皆さんは積極的に話し合い、要配慮者へどのように対応するかなど、避難所で自分たちが主体的にできることを考え、真剣に取り組んでいました。

次号では「ひなんじょ たいけん」をはじめとした赤十字防災セミナーについて特集予定です!

# 宮城県内施設のトピックス



## 院内救護班要員研修会で、次なる災害に備えを

6月22日(土)、当院の救護班要員を対象とした研修会を行いました。今年度初めて任命された職員も含め、43名の救護班員が参加しました。トリアージの方法や災害日報の書き方など出勤にあたっての基本的な内容から、巡回診療のシミュレーションまで、1日かけて訓練しました。より実態に近い訓練を行えるよう、能登半島地震の状況や実際に派遣された職員の体験を盛り込んだ演習内容としました。10月には、院内での対応を想定した院内大規模地震訓練も行う予定です。



▲傷病の緊急度を判断するトリアージの実習

仙台赤十字病院

## 「しあわせ」願う気持ちをこめて、全日空からすずらん寄贈

5月21日(火)、当院をはじめとした約50の全国の赤十字医療施設は、全日空グループから北海道で育った「すずらの花」とメッセージが書かれたオリジナルの「すずらのしおり」の寄贈を受けました。すずらの寄贈は、全日空グループの社会貢献活動の一環として患者の皆さまの幸せを願い毎年行われているもので、当院は今回で13回目となります。

贈呈式では、仙台市出身のキャビンアテンダント工藤彩奈さんより石橋悟院長へすずらの花としおりが手渡されました。贈呈頂きましたしおりには全日空グループの皆さまからのメッセージが添えられており、想いが込められたしおりは入院患者さんなどへお渡ししました。



▲すずらの花50本、すずらの香りがするオリジナルのしおり300枚を寄贈いただきました



▲しおりには全日空グループ社員皆さまからのメッセージが添えられています

石巻赤十字病院

宮城県赤十字血液センター

## 「シャレン!で献血」(社会連携活動)

### ~若年層の献血意識向上を目的に、ベガルタOBが献血呼び掛け~



▲暑い中ご協力いただきました!

若い世代の献血が減少傾向である社会課題をふまえ、6月29日(土)2024明治安田J2リーグ 第22節 栃木SC戦の試合開始前にベガルタ仙台、明治安田生命仙台支社と協働で「シャレン!で献血」を実施しました。

スタジアムには、ベガルタOBの梁勇基さんと太田吉彰さんにもお越しいただき、献血への協力の呼びかけを行っていただきました。

当日は56名の方に献血にご協力いただくとともに、多くの方に献血を知っていただくきっかけとなりました。

献血にご協力いただきましたベガサポ・栃サポの皆様、ありがとうございました。



## 赤十字幼児安全法指導員養成講習の実施について

赤十字では、日頃よりのちと健康を守る救急法等講習を実施しています。その中でも、乳幼児の手当や看病、一次救命処置などを取り扱う幼児安全法の指導員養成講習を以下のとおり実施します。

子どもたちを守り、救える社会づくりに興味のある方、ボランティア活動や赤十字に関心のある方のご応募お待ちしております。

定員15名(先着順) 申込受付開始日 9月2日(月)  
※必ず事前に赤十字幼児安全法支援員養成講習を受講し、認定証(有効期限内)を取得して下さい。  
詳細な日程及びお申込みについては、QRコードからご確認ください。

### 【問合せ先】

日本赤十字社宮城県支部事業推進課  
講習・地域事業推進係 TEL:022-725-7530

日程



講習受講申込



## チャレンジ防災セミナーを開催します!

「いのちを守る」自助・共助の知識を育み、防災の知識および災害時に役立つ手当などの知識や技術を、年齢問わず身に付けてもらうため、下記のとおり開催します。

ご興味のある方は、当支部ホームページからお申し込みください!(下記QRコードからアクセスできます。)

### チャレンジ防災セミナー

日時:令和6年11月2日(土) 10:00~12:30 ※1ヵ月前から募集開始

会場:宮城県赤十字血液センター(仙台市泉区明通2-6-1)

内容:災害への備え・防災クイズ、避難所設営体験、災害時に役立つ手当、施設見学



右のQRコードを読み込み、当支部のホームページにアクセスして、ホームページトップ→【イベント】チャレンジ防災セミナー】内のURLからお申し込みください。

## お役立ち情報

## 非常食かんたんレシピ



### \* アネちゃんの \* かんたんごはん帳

Vol.31

焼き鳥缶と乾物で作るおにぎり

非常食としておすすめしている切り餅。長期保存はできませんが、時々賞味期限をチェックして無駄にせずに食べきたいもの。うるち米に細かく切ったお餅を入れて炊くと、おこわ風になって美味しく食べられます。ストックしている缶詰や乾物も加えて、もちもち食感の炊き込みご飯を炊いて、食べやすいサイズのおにぎりにしてみましょう。  
おにぎりを作る時は、食中毒防止のために決して素手で触らないことが、何より大切です。万一の時の衛生管理のために、ラップ、食品OKの手袋、おにぎりをにぎってそのまま個包装もできるポケット状のポリ袋などを、非常食と一緒にストックしておけば、いざという時に安心です。断水で手を洗えないことも想定し、消毒用アルコールも準備すればなお安心です。

アネ(牧野純子)  
イラストレーター・FCAJ認定フードコーディネーター  
仙台市在住 赤十字防災ボランティア  
出版社、CM制作会社を経てフリーランスとして活動中

### \* 材料 (2人分・小さめおにぎり4個程度)

- A 切り干し大根…10g程度  
乾燥味付け油揚げ…10g程度  
切り餅…1/2個(25g程度)
- B 無洗米…1合(180ml分・150g)  
水…210ml 焼き鳥缶詰…1/2個  
ごま油…小さじ1 醤油…小さじ1

※小さじ1はペットボトルの蓋で1杯程度です

### \* 作り方

1. Aの切り干し大根は水洗いして、油揚げとともに1cm幅程度に、切り餅は1cm角に切る。  
※切り餅は包丁で、他はキッチン用ハサミがオススメ
2. 耐熱ポリ袋にAとB入れる。
3. 2の袋の空気を抜いて、できるだけ袋の上の方をゴムバンドでしっかり止める。
4. 鍋にたっぷりの水と3を入れ、沸騰してから30分加熱し、袋を開けて切るように混ぜる。  
※ポリ袋破損防止のため鍋底にザルや耐熱皿を入れる
5. 食品OKのポリ手袋、おにぎり用のポリ袋、ラップなどを用いて、おにぎりにする。



※写真は倍量(米2合分)のおにぎりです

